

参考資料

諮問

有まち第564号
平成29年3月28日

有田町総合計画審議会会長
岩崎数馬様

有田町長 山口隆敏

第2次有田町総合計画について（諮問）

有田町総合計画審議会条例（平成18年6月26日 有田町条例第198号）
第1条の規定により、第2次有田町総合計画について貴審議会に諮問します。

答申

平成29年11月27日

有田町長 山口隆敏様

有田町総合計画審議会

会長 岩崎数馬

有田町総合計画について（答申）

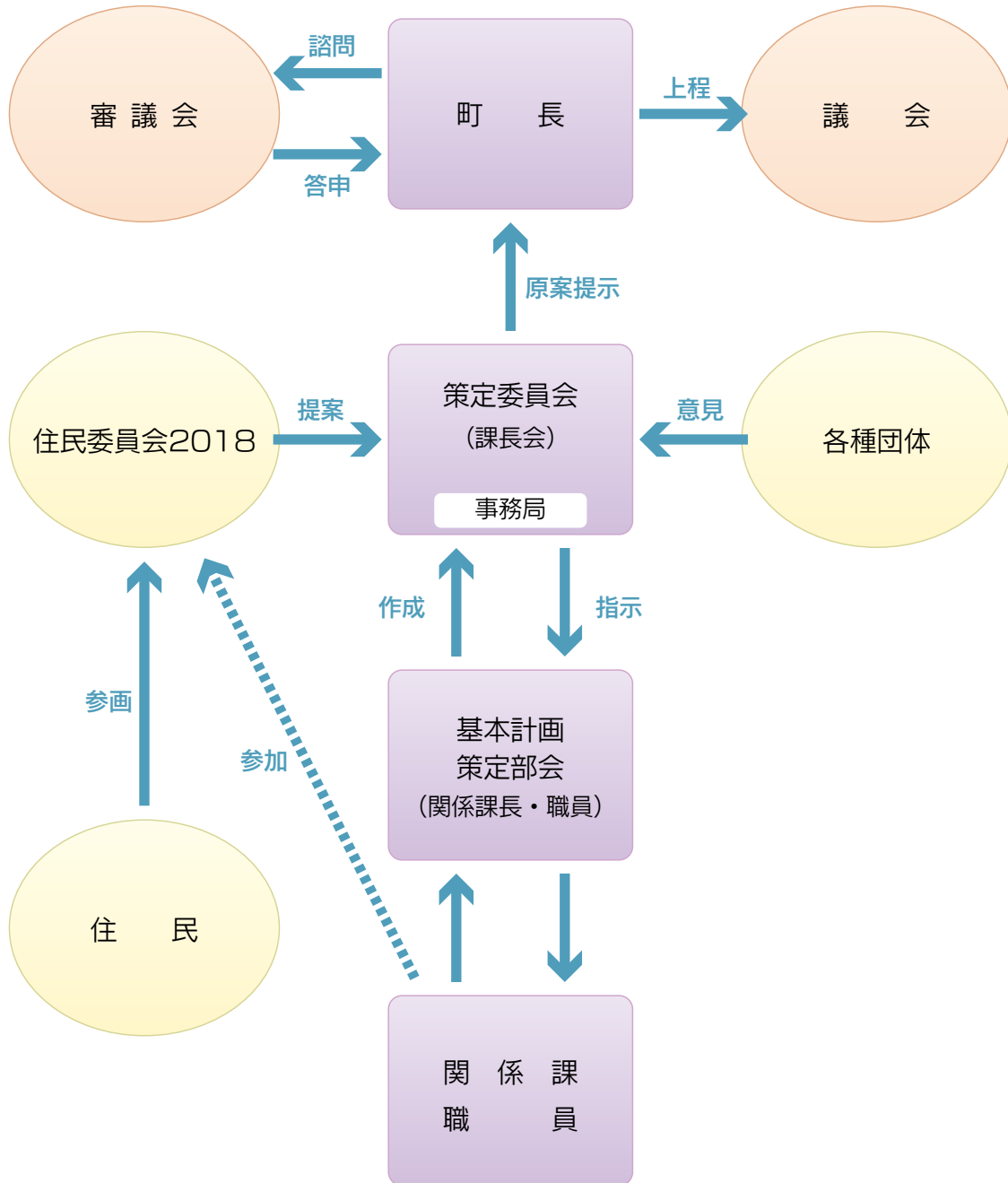
有田町総合計画審議会条例第1条の規定により、平成29年3月28日付け有まち第564号をもって本審議会に諮問された第2次有田町総合計画について慎重に審議した結果、別冊「第2次有田町総合計画」に下記の意見を付して答申します。

なお、計画の策定にあたり本審議会及び住民委員会2018の各委員に多大なご尽力をいただいたことに心から感謝します。

記

- 本計画の実現に向けて、町民との協働による取組を推進し、地域一体となって取り組んでいくことが求められることから、本計画の内容を広く周知することにより、町民や関係団体などに十分な理解と協力が得られるよう努められたい。
- 計画は実行することが重要であるため、適正かつ着実に実行されているかを検証し、検証結果を町民へ公表されたい。
- 当審議会の審議結果の意を十分に尊重され、地域の特性を活かした、魅力あふれるまちづくりの実現を目指されたい。

第2次有田町総合計画策定体制



第2次有田町総合計画策定経過

平成28年	5月 9日～ 5月23日	有田町住民満足度調査
	7月27日	第1回策定委員会（課長会）
	9月 8日	第2回策定委員会
	9月13日	第1回総合計画審議会
	11月16日	第1回住民委員会2018
	12月14日	第2回住民委員会2018
平成29年	1月26日	第2回総合計画審議会
	2月 5日	第3回住民委員会2018
	3月 1日	第4回住民委員会2018
	3月23日	第3回策定委員会
	3月28日	第3回総合計画審議会（諮問）
	4月17日～ 5月16日	パブリックコメント（基本構想案）
	4月19日	第4回総合計画審議会
	5月17日～ 8月23日	基本計画策定部会
	5月23日	第5回総合計画審議会
	7月 5日	第6回住民委員会2018
	7月24日	第4回策定委員会
	7月27日	第6回総合計画審議会
	8月31日	第5回策定委員会
	10月 3日	第7回総合計画審議会
	10月10日～ 11月 9日	パブリックコメント
	11月17日	第8回総合計画審議会
	11月27日	答申
12月12日	町議会に上程	

有田町総合計画審議会審議経過

第1回審議会 平成28年9月13日（火）午後3時 有田町役場第4・5会議室

- 委嘱状交付、会長副会長を選出。
- 第2次有田町総合計画（以下第2次計画）策定について、策定方針等を承認。住民委員会2018委員を、無作為抽出及び総区長推薦等により選出することに決定。

第2回審議会 平成29年1月26日（木）午前10時 有田町婦人の家軽運動室

- ありたのあしたアナタカラ～住民委員会2018について経過報告。
- 各種団体（審議会委員）アンケート調査をもとに協議。

第3回審議会 平成29年3月28日（火）午後1時30分 有田町婦人の家軽運動室

- 第2次計画基本構想（案）について〈諮問〉
- 将来像を「ひとつながりひとつどう 世界に誇れるまち 有田」に決定。

第4回審議会 平成29年4月19日（水）午後2時 有田町役場第4・5会議室

- 第2次計画基本構想案（基本目標）について協議。
- 住民委員会2018での意見や表現を取り入れつつ、より簡潔に著すこととする。

第5回審議会 平成29年5月23日（火）午後2時 有田町婦人の家軽運動室

- 第2次計画基本構想案について決定。
- 策定部会等で策定される基本計画案について今後審議を行う。

第6回審議会 平成29年7月27日（木）午後2時 有田町役場第4・5会議室

- 第2次計画基本計画策定経過について報告。
- 審議会の意見を反映させる形で策定部会での協議を継続。

第7回審議会 平成29年10月3日（火）午前10時 有田町婦人の家軽運動室

- 第2次計画基本計画策定経過について、第1次計画の検証とともに協議。
- 審議会の意見を踏まえ一部修正したうえで、パブリックコメントを実施。

第8回審議会 平成29年11月17日（金）午後4時 有田町役場第4・5会議室

- 第2次計画案及び答申案について了承

答申 平成29年11月27日（月）午後1時30分 有田町役場町長室

有田町総合計画審議会委員

区 分	所 属	氏 名	備 考
1号委員 (町議会議員)	総務常任委員会	原 田 一 宏	
	産業建設常任委員会	久保田 均	
2号委員 (学職経験を 有する者)	有田町教育委員会	今 泉 正 子	
	有田町総区長会 (審議会副会長)	岩 永 喜代次	前任(～H29.3.31)
		福 島 清 人	後任(H29.4.1～)
3号委員 (町民及び団 体の代表者)	有田商工会議所	深 川 祐 次	
	西有田商工振興会	川 内 文 昭	
	伊万里市農業協同組合	岩 永 康 則	
	有田町農業委員会	庄 山 嘉	
	有田町文化協会	川 尻 敦 子	
	西松浦郡連合PTA	岩 谷 綾 子	
	有田町民生委員児童委員協 議会	松 尾 廣 志	前任(～H28.11.30)
		道 津 功	後任(H28.12.1～)
	有田町自治公民館長会	樋 渡 毅 彦	前任(～H29.5.15)
		池 田 一 文	後任(H29.5.16～)
	有田町老人クラブ連合会	松 尾 利 興	
	(一社)有田観光協会	山 口 睦	
	有田町女性ネットワーク	岩 永 節 美	～H29.3.31
	(一社)陶都有田青年会議所	久 家 郁 子	
	有田町消防団	山 口 修	前任(～H29.3.31)
		溯 上 弘 徳	後任(H29.4.1～)
	有田町子ども・子育て会議	王 寺 直 子	
公募委員(審議会会長)	岩 崎 数 馬		
公募委員	徳 永 純 宏		
専門委員	(株)佐賀新聞社	富 吉 賢太郎	専務取締役編集主幹
	国立大学法人佐賀大学	小 坂 智 子	芸術地域デザイン学部 学部長

住民委員会2018委員

鷹取和美	松尾佳昭	力武智子	岩下佐代子
岩尾匡	金氏絵梨奈	金武智子	池田勝幸
田中萬里	堤亮介	田代美由紀	池田昇
辻聡彦	館林聖介	大石欣也	納富万里子
福田貴央	法村眞己子	押垂芳宏	佐藤春孝
蒲原洋美	片岡林	中川めぐみ	井之久子
中谷敏康	坂本美保	中島ひとみ	岩永明子
相原寛史	原恵子	岩永聖子	田代奈那
金ヶ江美里	福島玲子	坂本敏彦	佐藤康二
今村肇	三枝茂利	福島美穂子	岩永枝信
大久保澄江	百田仁美	岩永二郎	佐々木元康
岳川淳彦	山口時一郎	岩永礼子	土井輝
北島由貴	岩永和久	木寺聡史	木寺康雄
引田千恵子	岩永喜代次	久保田直紀	川崎貞祐
松尾保成	柴田光史	黒川洋一郎	中川真悟
井上直美	島田ミドリ	樋渡洋幸	中島剛主
井上芳子	西山美春	藤田賢治	川崎幸子
末次和子	金武康男	藤田智子	古川恵一
吉永順子	館林宏久	上瀧菊江	久保田道彦
川口敏	廣宗子	福田芳文	塚本まゆみ
岩永香穂里	今泉強	久保田洸太郎	山口毅
菅洋司郎	阿部春喜	立部卓実	山口重信
松永大輔	田中妙子	立部智成	石田讓
馬渡英子	吉永美和子	平嶋直子	馬場清隆
南善三	岩崎祐久	廣智恵	池田孝
西山翔	岩永和宏	川久保高一郎	(順不同)

第3回住民委員会2018 MAKE! ありたポスターセッション

各テーマに分かれてのグループセッション、ポスターセッションを行い、たくさんの課題やアイデアが出ました。（一部を原文のまま掲載しています。）

住民参画・協働

A 住民と行政の協働、地域づくり

〈役割分担〉

地区の道の保全とかを地区でするように行政が方向転換／自分たちでできることは自分たちでやる。行政はアドバイスを／若い世代が地区の役を担う必要

〈課題〉

上有田地区の人口減少、定住促進、空き家利用／班単位での見守りの充実、小中学校内での有田についてのディスカッションする時間を設ける／一人ひとりが有田のことを知る／個人個人のお金のかからない活動が少ない。自腹でまずやろう／公民館のカギの管理が面倒で使い勝手が悪くなっている／メディアをどう利用されるのか

〈世代間交流〉

PTAと婦人部と老人会との交流が必要／人材の育成のための世代間交流推進、年配の知の活用／高齢者と子どもの交流の場を設ける。学校の空き教室／子どもと高齢者のふれあいで元気になる

〈人材育成〉

まずリーダーをいないと／リーダーは男も女も必要。新しい部門が必要。健康関係、子ども関係などの役割分担／子どもの住民委員会／人づくりが大事／リーダー養成の場をつくる

〈つながりの再構築〉

公民館の子どもたちへの開放／災害関連を定期的にすれば自然につながりがでてくるのかも

〈情報発信〉

タブレットやスマホの使い方講座で情報発信と世代間交流を同時にできる／年間行事(区、私事etc.)等のリスト／有田の良いところを外に発信し、人が集まる町に／有田を歩く／一人ひとりが有田を発信する／区の集会や団体の集会時に周知する（より草の根的に）もちろん情報を集めてすぐ見られるもの（HPなど）も必要／ぐるナビとかのような口コミサイトの有田町版をつくる／広報活用、行事を広く知らせる

〈その他〉

集落の行事を大事にする継承できる助言を／こういう場をもっと作っていく（他の人も参加してもらうためにも）／若い人の集い離れ心配、集まりの機会づくりを／参加型にする。地区の公民館で井戸端会議からでいい／まず住民が自分の住んでいるところを好きになり、住民同士が良い方法を考え、それから行政にお願いをする／住民が地域の生活環境に気づくことから始める。行政に何かを求めるのではなく、住民が自ら経験したことから改革できるものを提案する

B 男女共同参画

〈町のことやスキルを学ぶ場〉

地区のことを勉強する機会を女性も持つ／女性のスキルを上げる場所が必要。勉強会／男、女という性別にとらわれない。大人、子ども、高齢者にとらわれない人それぞれの役割

〈女性の政策への参画〉

区の選挙。女性の意思を取り入れる話し合い。役員／男女の役割を分けない／男女共同を広げて「住民総参画」を目指す／地区の運営に女性の意見を入れる／農業女子、消防女子など頑張り屋さんにポイントを！／性別を超えて適材適所の人材配分／女性の区長他、役職を！／議員、班長、区長に女性の確保の割合をつくり意見を取り入れる

〈集まり交流する場〉

集いの場と買い物場をマッチさせる／小さな集まり、話し合いの場を持つ／高齢者と若い人の交流の場を

〈意識改革〉

できないことは「助けて」といえる社会づくり／参画に男性の理解を

〈変化や気づき〉

男だから女だからの意識はいらないと思う。納得の上でできることをする／男女参画で消防団に参加。しかし、女性の役割で活動している／フランクに話す機会を多くつくる工夫をする。男女＝人々。男女とあるとすでに区分けしている

C 行財政運営

〈施設の有効利用〉

施設の有効活用。結婚式場、葬儀など／公民館、地域に今あるものの利用を徹底する。（子ども、老人、すべての人々）焱博の設備も／町施設の活用についての情報発信（あまり知らない）キャパ、料金／地区の中のミニ図書館〈家にある本を持ち寄る〉／日曜日オープン

〈資源の活用〉

安い家賃で空き家の利用／上有田の町並み整備。人を呼び込む／空き家のリノベーション。
近隣の人を住ませる／石場も立派な資源、観光地です！もっと活用を！

〈財源確保〉

ふるさと納税のPR／有田のことに助成に繋がるようなクラウドファンディング、税金、
個人、法人投資

〈人口減対策〉

人が集まらないと税金も増えない／企業誘致で人、金が集まるように／新規定住者にリノ
ベーションした空き家を優先、安価に貸し出し

〈行政のスリム化〉

地域でできることは地域で。行政のスリム化／地域ができることは地域で。→コミュニテ
ィの醸成／財政健全化！まず若者に予算をつけよう！

福祉・保健・医療

D 健康づくり

〈美意識〉

出会い、言葉、生活の中に美、親世代の教育／夢、目的、あこがれ／体操教室、世代間交
流、地区のウォーキングマップ、健康マイスター／公民館活用、有田健康体操、情報発信、
IT活用、地域の交流

〈交流・運動〉

ふれあいの場／家に閉じこもらないで社会参加／仲間づくり、世代を超えて交流／私だっ
て何かできる。ボランティア／人から学ぶ楽しい健康づくり

外出／誰でも参加できる運動／生涯現役、元気高齢者の社会参加／

場所（運動）／自分ひとりではなかなか運動しない／運動する施設／社会体育の見直し。
もっと幅広く利用できたら／健康施設マップ／町全体で利用できる多目的広場／雨の日も
運動できる場所／地域ぐるみの運動体験

〈予防〉

私生活・リズム／健康づくりを達成したら何らかの特典を！／子どもの頃から体力づくり
／健康ロード、健康の特典／子供でも親しめるスポーツを。一生楽しめる。競争じゃなく
／一人でもできるウォーキングから／骨折予防／早期発見よりも予防／子供の肥満予防／
糖尿病、早期に適切な治療（人工透析を防ぐ）／しごと、趣味、食事、休暇、バランスよ
く／がん対策／規則正しい生活リズム／どのような広報、メディアで紹介／間違った知識
が意外と多い／自分も高齢まで生きる前提で生活をする／医療介護連携

ストレス／がんとストレス／心の健康は身体の健康につながる／精神面での健康づくり／それぞれ（個人）楽しみ（趣味）を見つける。毎日を楽しみいきいきと！

〈食事〉

共に食する、その中で健康と食の学び／食品の知識を深める（添加物とか）／楽しい食卓作り（忙しいながらも）／食生活の改善／子供の頃からの食生活への指導充実／地産地消で／食育（子供の頃から）／「有田メニュー」の作成／孤食を無くそう！／健康的な食生活／子供食堂、世代間交流／子供食堂をとおしてお行儀よく食べる等みんなで食べる場／器を活かしての食育、健康にもつながり美意識の向上

E 福祉と医療

〈たっしやかゾーン〉

高齢者、移動にコストがかかる／高齢者同士の交流が少ない、共感しあうこと／高齢者への支援（運動、寄り合い場）／楽しく過ごす場の提供／仲間づくりのできる場所。各部落、地区に設ける／高齢者にやさしい町／老人の通いの場をたくさんつくる／介護予防の拡充（総合事業）／元気な老人づくり／心と身体に関連がわかる学び場／元気な高齢者の少しでも働ける場所づくり／社会参加で健康づくり／老人を必要とする場所づくり／認知症に対して有効な方法が無い

〈医療ゾーン〉

通院の手段、高齢者等のタクシー代↑／医療費↑／誰かの手助けが喜びになって健康になる／健康診断の拡大（機会等）／車を持たない人の交通手段／健康寿命／介護費／24時間在宅医療（自宅で看取り）／医療・介護のムダの削減／福祉、医療ともに町費負担が増えている／時間外をつくらない病院（いつでも時間内）／予防が重要／病院休日いくのには車が必要。でも高齢化／町内の検査の徹底

〈インクルージョン〉

生活困窮者へ少しずつでも職業訓練／児童発達支援施設が町にない／当事者間の会が少なすぎる／障がい等関係なく共生できるまちづくり／障がいのある方と育てている方への理解、いたわり

〈プレゼント〉

介護予防（ロコモ対策）、シルバーパワーの活用／施設利用時の特典はあるのか、所得がない人への助成／元気な高齢者へプレゼント／介護離職や結婚の機会の喪失がある／所得によって違うのか、国、県、町でどのようになるか／介護保険の使いすぎの削減／介護職給与の是正／介護保険を受けない方に金一封をだしてもらう

〈行政の課題〉

無駄な書類が多い／町民の一日に係わらずたて割り

F 子育て支援

〈教育〉

高齢者と一緒の授業時間を設ける／経験者の知恵／おじいちゃん、おばあちゃんより教え／夏休みの子供学校—現在4時までです。続けてください／子育ては人づくり→国づくり／保育士確保のために、学校教育と連携

〈ふれあい〉

親同士交流の場／図書館でふれあい／町ぐるみで子育て／地域で見守る／バザー、洋服のおゆずり会／親だけではない、地域がかかわる／同居／忙しい若い世代を助ける人必要／世代間交流／子供たちの文化交流／若いお母さんの仕事と育児の間の手助け／新米ママさんのへのやさしい声かけ、気遣い、心遣い／子供を育てやすい環境づくり／子供食堂、年配の方も食事できる、誰でも参加できる

〈学費〉

給食費助成／保育費の値下げ／給食の内容が、いろどりが寂しい。町民の協力を！

〈悩み相談〉

子育て支援センターによろず相談を！／子育て支援センター（未就学児）／親が悩みを相談できる場所をつくる／当事者の会発足の手伝いが必要、ひとり親、障がい者

〈企業〉

企業誘致／働き口の確保／企業内保育所

〈その他〉

手持ちの資産の活用、技術・土地／ボランティアばかり使うのは考えもの→シルバー人材とか考えて！／子育てが終わった年配の者で子育てを手伝う／地域の「保育ママ」活用、子育てを経験された方に教えてもらう／保育士さんも正社員にしてほしい。そしたら増える／子育て支援の財源、優待施設があるのか／病児の保育の充実／救急医療（日曜日・夜間）嬉野医療センターまで30～40分／財源を考える前に財政自体も考え直す

生活環境基盤

G 循環型社会と生活環境

〈ごみの分別・リサイクルの推進〉

リサイクル意識の向上（以前よりも分別事業が減ったような気がする。）／ごみステーションの整備に助成をしてもらいたい／燃えないごみの分別が悪い。ちゃんと区別するといいい。／燃えるものは何でも入れられるようになり、資源、ごみの考えが変わった／生ごみの袋をグリーンから黄色に変更（カラス対策）／食事の食べ残し、ごみ削減を／ごみ問題教育を／不法投棄、ポイ捨て禁止／ごみポイ捨ての看板を大きく、目立つようにするとい

い／ポイ捨ての懲罰、人としての責任／不法投棄を減らす

〈電柱地中化〉

電柱をなくし防災減災を行う必要がある。地震がこわい

〈下水道関連〉

下水道加入の促進⇒河川の水質改善／上下水道現状施設配管の適切な管理。道路支障（穴があく）にならないように／下水処理場の汚泥の再利用。農地還元／浄化槽整備の推進

〈その他〉

竜門ダムの水質改善、飲料水／洗剤使用量の減少／クリーンエネルギーの利用（小水力発電、太陽光）／新エネルギーの利用

H 道路交通体系

〈交通安全〉

交通マナーの一人ひとりの改善（信号無視、一時停止）

〈道路の維持、管理〉

道路修繕、樹木伐採、支障物取り除き／道路標識、ロードラインの剥離施設の修繕／道路沿いの樹木の剪定／景観に配慮した道路工事／202号線両側の歩道設置／県道伊万里有田線早期完成（202号交通悪化を防ぐため）／地元ことは地元で!!／上有田地区観光客、伝建が揺れるから大型車規制して欲しい／登下校時安全な道路づくり／橋と側溝のメンテナンス／国県町道、右折レーンの設置（特に国道）追突防止／路面表示／信号設置／信号（赤信号）の適度な時間調整を

〈交通の利便性〉

コミュニティバスを観光客用に路線見直し！今は町民用の路線？／買物に不便、循環移動、スーパー（軽トラック）

I 消防・防災・防犯

〈消防団〉

消防団の加入が年取ってでもできるよう／消防団増員、ガケ地の把握、防犯灯の増設／消防団員の加入促進、広報活動

〈防災〉

防火水槽、消火栓の適切な配置、老朽化施設の修理／簡易な店舗用火災報知機の使用／防災無線戸別受信機の設置促進／防災無線が聞こえにくい。ケーブルTVなどの利用／災害時要援護者対策／道路整備／防災道路を通りやすくする。白線を見やすくする

〈防犯灯〉

防犯灯の増設／防犯灯（LED）を増設。電気料補助、人感応式施設（耕作地）／防犯灯を青色に、犯罪の減

〈子供の防犯〉

防犯、子供たちの家庭でもよく話を聞かせることも必要かと思う／小学生全員に防犯ベルを

産業振興・観光

J 商工業

〈窯業の後継者不足〉

専門化により職人の減少／高齢化と後継者不足／後継者作り。絵かき、ロクロ師が少ない／生地工場、波佐見から仕入れている／絵付け師、濃手の育成／技術の継承の断絶／技術者養成（無料）、公営／伝統技術継承（後継者育成）／見習い期間中の収入の補償／道具を作る人がいない／職人人材バンク／若い人が残れる体制、しくみ

〈窯業を体験できるしくみ〉

陶磁器づくりのイベント／ろくろ、絵付け体験などを増やす。観光と結びつける／楽焼体験／全国の小学校と提携して、ろくろ、絵付け、やきものづくりの修学旅行／窯元見学ツアーなど新しい収益源にする／職人見学ツアー、観光に組み込む

〈連携PR〉

商店どうしの連携／販売専門窓口、売りPR発信／ネームバリュー

〈新しい有田焼〉

有田の土を使うやきもの／新しいタイプの有田焼を増やす／商品開発、時代にあったもの／ニーズ変化についていけない？

〈資金活用の見直し〉

売上促進策（国内、若い人向け）／資金、予算の有効活用

〈他業種の誘致〉

企業誘致（他業種）／商工業事業者の増加策／飲食店／若い人が働ける企業の誘致／空き物件を利用した宿泊を増やす／核となる商業施設不足

〈その他〉

窯業のトータルサポートをするポータルサイト／今ある産業や商店の強化／専門化している（建築関係）／道（バイパス）と商店街／大資本の参入により小商店がつぶれる

K 農林業

〈ブランド・魅力化〉

特色ある作物づくり（有田の地形・風土を生かす）／農業（米作）適地確保／無農薬の野菜／昔の野菜を栽培する／金柑 シャインマスカット 果物がおいしい／南山茶園再生／農産物の輸出／ブランド・仕組み／協同加工場を作って販売する／施設栽培に変えていく／農家民泊／農業×〇〇（農業に興味のある他ジャンルの人を呼ぶ）／食もブランド化し、有田の器で食べる ユージアムアリタのようなことができれば／高く売れる米作り 米のブランド化

〈農の人育成〉

オシャレな農業女子／農業をやってみたい人を募集する／半農半陶／小規模農家を増やす／子どもの食育／農家体験／収穫体験をさせる

〈外交〉

国内外への情報発信（SNSを活用する）フォトグラファー／農作物をどこで売っているか知らせる／移動車に弁当などを入れて福岡で売る／町内消費者との交流拡大（軽トラ市）／有田のおいしい食材の情報発信

〈窓口・レストラン〉

有田の食を楽しめるレストラン／有田の食材のみのSHOP

〈器×農〉

器とのコラボ（有田の作物を使ったきれいな料理）／米・キンカン・豚・鳥・牛・鯉

〈棚田の保全〉

田植えや収穫体験のイベントをする／イノシシが棚田の石組みを崩す／棚田などで無農薬の農業を誘致（地元の理解）／減反政策の弊害／石組みの棚田は希少

L 観光

〈ホテル・レストラン〉

ホテルを作る／有田の食と有田の器のレストラン／レストランを作る／レストランとホテルを組み合わせる／宿泊の場所が少ない／宿泊先の確保（ホテル、民宿）／温泉郷あるといい

〈情報発信〉

まちの観光情報を町内外の人に伝えるパンフレット（季節ごと）／まちの中のわかりやすさ（MAP、看板）／窯元案内地図設置（町内）／町内のそれぞれの店などがメッセージを掲載できるWEBサイトを作る／イベントへの発信力／町内の人にもいろいろなイベントを伝える／有田の人が有田のまちのことを知る。町外の人に有田のことを伝える／有田のツールが活用できていない／紙媒体、インターネット（SNS）、イレブンテレビなど連

携し活用できるようにする／陶器市の客に他の期間のイベント情報を伝える

〈観光整備〉

駐車場の設置（大型バス、一般、内山地区）／駐車場の設置箇所のPR／札の辻再開発（銀行、陶山社下）／観音山（百婆仙）整備／外観を整える／有田駅周辺に煙突を（モニュメント）／有田のやきもの、棚田、景色、食、温泉が楽しめるツアープランを／本当の観光、お金を落とすシステム「観光産業」／景色が観光のコア／観光という名の連携を。三方よし！ バス、タクシー、ルート

〈観光素材〉

町中に目玉となる所はある／紅葉時期をもっとPRする／古九谷の里、山辺田に遺跡展示室を！知らない人が多すぎる／有田館のからくり人形、九陶のからくり時計／有田ならではの観光／ありたうちやま伝統的建造物群158件

〈観光客対応〉

ターゲット別のまちあるきMAP／ターゲット別のまちあるきガイド／多様性のある窓口／リピーター／ターゲットは若者／若者向けの街なみがない／外国人対応の翻訳機の案内所の設置／外国人観光客への対応

〈登山〉

やきものだけでなく黒髪山など登山イベント等の開催／有田町一周オルレ／登山客

〈観光の産業化〉

いきなり通年は難しいので、イベントの期間や回数を増やす／陶器市以外の時期に空店舗を活用するしくみ／客は増えたが販売につながっていない／景観の良さ、棚田、緑の時期、紅葉の時期、通年観光のシステム／観光＝農業＋商工業／着物で歩くアイデアは有田の町中の雰囲気合っている。そういうアイデアが必要／観光の分かるプロを育成／観光産業を学べる場

文化・教育

M 幼児教育、学校教育

〈情報・意見〉

自主性がない→ある子育成／見守り隊に感謝。有り難い。子供を守る&教える&しつけ／転居 学校環境はポイント。よいことをPR!!／挨拶 大人も子供も

〈地域の方々〉

子供とお年寄りとのかかわり／地域に広げる／広い年齢『ふれあいの場』／お年寄りと触れ合う学校がいい！／学校教育と放課後の連携／校外講師の活用／有田らしい教育が欲しい／地域のつながりを大切！／地域と個人の繋がり場の場／コミュニティの育成促進

〈IT・Web〉

授業風景のシェア（グローバル化）良いものはシェア／IT授業の促進／ネットを持っていない人に対する情報伝達方法の充実を

〈文化・スポーツ〉

学校外の行事を進める／子供たちの伝統行事を／皿かぶり競争検定／ハマ投げ国際大会（W杯）

〈つながり・交流・有名人〉

佐大有田キャンパス／交流・活性化／子ども食堂など／多世代交流の場／他校・他町校とのつながり／コミュニティの充実／家庭教育相談／外部からの先生・講師／出前授業。町民授業／スポーツ選手・有名人の生き方など講演会開催促進／成功体験の共有

〈給食〉

給食美味しい「誇り」にする／学校給食（自校）つづけてほしい

〈その他〉

コミュニケーション力教育／教育特区／有田らしい教育制度・条例／転んでも（失敗しても）手を出さない教育を促す／ゴール設定（夢）／インターンシップ（幼児期から）／キッズ検定→大人への活用／有田いろはカルタの活用（家族・学校）

N 伝統文化、地域文化と生涯学習、生涯スポーツ

〈場の活用〉

町立図書館が少しさびしい／空き家をコミュニティの場として、もっと再利用して個人と地域の間を作成（リアル、Web）

〈ITの環境を整備〉

Webの充実／Webスマホ・タブレット情報／Wi-Fiを整える

〈スポーツ・サークル〉

健康は心身共に健康／セミナー講師募集／60歳以上のスポーツ参加。60歳は若人です！／皿かぶり競争を有名に！／スポーツ盛ん。文化継承のためのまつりが多い。地域行事／自主サークル・町民の活発化／1人1サークル／中学校の部活 スポーツをもっと応援、強く！！／体育館の使用時間を長くしてほしい／大人が楽しんでいる社会 女性や子供も楽しくなる社会

〈文化プログラム・学び〉

有田塾・有田大学の実施／お祭り、方言、郷土料理を大切に！／有田の文化に関連しない学習プログラムを／伝統お祭り、伝統行事→観光化／地域性の再活性とグローバル化／浮立・太鼓など外国人が喜ぶ文化を大切に！／それぞれの連携／住民参加型のイベント／有田の伝統的行事や文化財の知識を増やす講座／伝統的行事・お祭りの保存／子ども教育へのつながり 人とのつながり 文化への興味

〈PR・アピール〉

誰でも参加できる事業の周知／レクレーショ的な講座／体験スポーツイベント

〇 文化財と伝統的建造物群

〈具体的な案件〉

保存修理事業／棚田 自然の素晴らしさPR／異人館の活用／えんとつの保存は？ できる？／田舎臭さを残す。田舎っぽさが良い所／内山地区以外でもオモシロイところがいっぱいある／文化財の文化財以外の活用／建造物ガイドの活用／文化財ガイドの活用／伝建物の整理／伝建地区の道路の速度規制／無形文化財の保護

〈子ども教育・文化財教育〉

学校の授業の中で文化財などを知る機会を与える／児童・生徒への文化財や町の歴史を教える

〈情報の発信・PR〉

伝建情報が少なすぎる／文化財の活用／文化財はあるが情報発信が少ない／もっと有田で有田のいいことを発信して／地元愛を／情報発信方法の改善急務／温故知新でもっと有田の人が好きになり他県に誇る（リアル、ITでシェア）／伝建の利用／cafeとか〇〇教室／伝建物の年代が違うのをもっと打ち出しては……／伝統的建造物スタンプラリーをもっとPR!!／観光化との連携／文化財のマップを作り宣伝

用語解説

第1節

No.	用語	解説
1	NPO法人（特定非営利活動法人） 掲載ページ P26	「NPO」とは、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称である。収益を目的とする事業を行うこと自体は認められるが、事業で得た収益は、様々な社会貢献活動に充てることになる。このうち、特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人を、「NPO法人（特定非営利活動法人）」という。NPOは法人格の有無に問わず、様々な分野で社会の多様化したニーズに応える重要な役割を果たすことが期待されている。
2	市民公益活動団体 掲載ページ P26	NPO法人やボランティア団体などの、自主的かつ自発的に行う非営利の、不特定かつ多数者の利益の増進に貢献することを目的とした活動を行う団体のこと。
3	ホームページ 掲載ページ P28	インターネット上にある情報提供サービス。ウェブページ。
4	アダプトプログラム（公共施設里親制度） 掲載ページ P28	住民と行政が協働で進めるまち美化プログラムのこと。「アダプト」とは「養子縁組する」という意味で、企業や地域住民などが道路、公園、河川など一定の公共の場所の里親となり、定期的・継続的に清掃活動を行い、行政がそれを支援する仕組み。
5	地域おこし協力隊 掲載ページ P28	都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業の従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。
6	SNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス） 掲載ページ P31	インターネット上で人と人のつながりを支援するサービス。
7	情報セキュリティ 掲載ページ P31	情報の機密性、完全性、可用性を維持すること。
8	オープンデータ 掲載ページ P33	自由に使えて再利用ができ、かつ誰でも再配布できるようなデータ。
9	タウンプロモーション 掲載ページ P33	町の魅力や施策・情報を町内の方だけではなく、幅広く発信し知ってもらう活動。

No.	用語	解説
10	ツイッター 掲載ページ P33	140文字以内の短文「ツイート」の投稿を共有するウェブ上の情報サービス。
11	フェイスブック 掲載ページ P33	SNSのひとつ。インターネット上で実名でつながり、交流するサービス。
12	クチコミサイト 掲載ページ P33	商品、人物、集団（企業等）、サービスなど、物事に関する評判や噂を扱うインターネット上のサイト。
13	オンライン手続き 掲載ページ P34	インターネットなどのネットワーク経由で各種手続きを行うこと。
14	社会保障番号（マイナンバー）制度 掲載ページ P34	複数の行政機関等に存在する特定の個人の情報を同一人であるということの確認を行うための番号を個々に付与する事で、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤となる制度
15	ペーパーレス化 掲載ページ P34	オフィス内の文書、書類、帳票類の電子化を進めてパソコンやタブレットなどでファイルとして閲覧できるようにすること。
16	シビックテック 掲載ページ P34	シビック（市民）とテック（テクノロジー）を掛けあわせた造語。市民自身が、テクノロジーを活用して行政サービスの問題や社会課題を解決する取組。
17	ビックデータ 掲載ページ P34	従来のデータ処理アプリケーションで処理することが困難なほど巨大で複雑なデータの集積物を表す用語。
18	DV（ドメスティック・バイオレンス） 掲載ページ P36	配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力（経済的暴力・社会的隔離・身体的虐待・心理的虐待など）。被害者を女性に限定してはいないが、多くの場合、配偶者からの暴力の被害者は女性である。
19	合併特例期間 掲載ページ P36	<p>【普通交付税の合併算定替】 合併が行われた年度及びこれに続く10カ年度は、合併前の旧市町村が存在すると仮定して算定した交付税額の合計額を保障し、その後5カ年度で段階的に増加額が縮減されるもの。</p> <p>【合併特例債】 市町村の合併に伴い必要となる事業について事業費の95%まで充てることができ、返済額の7割を国が負担する。発行期間は合併後10年間だが、東日本大震災後、5年間延長できるようになっている。有田町の場合、平成32年度事業までが対象となる。</p>

No.	用語	解説
20	PFI (プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)・PPP (パブリック・プライベート・パートナーシップ) 掲載ページ P43	【PFI (Private Finance Initiative)】 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。 【PPP (Public Private Partnership)】 公民が連携して公共サービスの提供を行うスキーム。PFIはPPPの代表的な手法の一つ。
21	経常収支比率 掲載ページ P44	地方自治体の財政の弾力性を示す指標として利用される。低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的につかうお金が多くあることを示している。
22	指定管理者 掲載ページ P44	公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることが出来る制度により運営をしている業者等。

第2節

No.	用語	解説
23	健康寿命 掲載ページ P45	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。
24	心血管疾患 掲載ページ P45	心臓、血管など循環器における疾患。心筋梗塞や狭心症、大動脈瘤、大動脈解離など。
25	ストレス 掲載ページ P45	精神緊張、心労、苦痛、寒冷、感染など、ごく普通にみられる刺激(ストレッサー)が原因で引き起こされる生体機能の変化。
26	メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群) 掲載ページ P47	内臓脂肪型肥満に脂質異常症、高血糖、高血圧のうち2つ以上を重ね持った状態。
27	フィードバック 掲載ページ P47	結果を原因に反映させて情報提供すること。
28	食育 掲載ページ P48	様々な経験を通じて食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。
29	スローフード運動 掲載ページ P50	自分達の食と生活を見つめ直し、歴史と文化に裏づけされた人にやさしい食文化をすすめましょうという運動。
30	8020運動 掲載ページ P50	満80歳までに20本の歯を残そうとする運動。

No.	用語	解説
31	地域包括ケアシステム 掲載ページ P51	要介護状態となっても住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制。
32	ノーマライゼーション 掲載ページ P51	社会的弱者が他の人と同様に住みなれた家庭や地域の中で生活していくことができる社会が通常の社会であるという考え方のこと。
33	ニーズ 掲載ページ P51	人や集団が持つ欠乏感のこと。生理的ニーズ、社会的ニーズ、個人的ニーズなどがあり、人間生活上必要な、ある充足状況が奪われている状態をいう。
34	生活支援コーディネーター 掲載ページ P54	高齢者に関するサービスの開発、育成、ネットワークの構築、ニーズと取り組みのマッチングなど、生活支援と介護予防の基礎となる部分を構築するための様々なコーディネート業務を行う専門職。
35	認知症カフェ 掲載ページ P54	認知症の人と家族、地域住民、専門職等、誰でもが参加できる集いの場。カフェのようにリラックスした場所で、お茶を飲みながら認知症について気軽に意見交換ができる場所で、「新オレンジプラン」（認知症施策推進総合戦略）の戦略の一つに掲げられ、全国に広がっている。
36	バリアフリー 掲載ページ P55	社会的弱者が社会生活をしていく上で、障壁（バリア）となるものを除去すること。
37	ユニバーサルデザイン 掲載ページ P55	年齢、性別、言語や障害の有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人々が利用可能であるようにデザインすること。
38	かかりつけ医 掲載ページ P57	日常的な診療や健康管理をしてくれる身近な医師。
39	老老介護 掲載ページ P57	高齢者の介護を高齢者が行うこと。主に65歳以上の高齢の夫婦、親子、兄弟などがそれぞれ介護者・被介護者となるケースを指す。
40	労働力人口 掲載ページ P61	労働に適する15歳以上の人口のうち、労働力調査期間である毎月末の一週間に、収入を伴う仕事に多少でも従事した「就業者」（休業者を含む）と、求職中であった「完全失業者」の合計を指す。働く意思と能力を持つ人の総数。
41	子育て支援センター 掲載ページ P64	公共施設や保育所、児童館等の身近な場所で、主に未就園の乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供を行う施設を指す。

第3節

No.	用語	解説
42	バイオ燃料 掲載ページ P70	生物体（バイオマス）の持つエネルギーを利用したアルコール燃料、その他合成ガスのこと。
43	クリーンエネルギー 掲載ページ P70	電気、熱などに変えても二酸化炭素、窒素酸化物などの有害物質を排出しない（または少ない）エネルギーのこと。
44	空き物件インフォメーション 掲載ページ P72	空き物件の情報を自治体のホームページなどで発信し、所有者と活用希望者をマッチングさせる仕組み。
45	コミュニティバス 掲載ページ P75	路線バスなどの交通機関では対応できていない地域の交通需要に応えるために、主に自治体が主体となり運行しているバスのこと。
46	地域防災計画 掲載ページ P80	市町村防災会議が、災害対策基本法に基づいて地域の実情に即して作成する地域の防災計画。災害発生時の応急対策や復旧など、災害に関わる事務・業務に関して総合的に定めたもの。
47	自主防災組織 掲載ページ P80	地域住民が自主的に地区や集落ごとに連帯して防災活動を行う組織をいう。平常時は防災訓練や広報活動、災害時には初期消火や救出援護、集団避難、避難所への給水給食などの活動を行う。大規模災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは十分な対応ができない可能性があるため、自主防災組織への積極的な取り組みが求められている。
48	ハザードマップ 掲載ページ P83	地震、津波、高潮、洪水、浸水、噴火、土砂災害などの被害を予測し、被害の恐れのある地域や避難に関する情報を掲載した地図。住民に危険箇所を周知し、災害発生時に、迅速・的確な避難を促し二次災害を防ぐ目的もある。
49	自衛消防組織 掲載ページ P83	事業所などで災害に備え、従業員の活動任務と具体的な行動基準を定めた「企業内消防組織」のこと。
50	防災行政無線 掲載ページ P84	防災行政のために、市区町村が設置・運用する放送設備のこと。固定（放送）局は市区町村役場などに設置され、屋外拡声子局・戸別受信装置などを通じて、避難勧告や避難命令、地震や竜巻、武力攻撃などを知らせる緊急速報、火災発生などを伝達する。
51	緊急速報メール 掲載ページ P84	気象庁や自治体が発表する災害・避難情報を携帯電話会社が一斉に配信する電子メールのこと。
52	緊急医療情報キット 掲載ページ P84	自宅での緊急の容体変化等により、駆けつけた救急隊員や受け入れ機関等が迅速・適切な処置を行えるように備えるもの。救急情報（かかりつけ医療機関や緊急連絡先、持病など）を記入した用紙を筒状のケースに入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておく。

No.	用語	解説
53	国民保護計画 掲載ページ P82	国民保護法に基づき、都道府県ごとや市区町村ごとに、外国からの武力攻撃やテロなどの有事に備え、住民避難や被災情報などの収集方法などを定めたもの。
54	子ども110番の家 掲載ページ P85	児童や女性が声かけ、つけまわし等の被害にあった場合に助けを求めて逃げ込むことのできる民家、商店、会社等を「子ども110番の家」として委嘱する制度。
55	ライフライン 掲載ページ P87	日常生活を送る上で必須の諸設備を言い、ここでは主に、関係機関との通信手段、水道水の確保、交通網の復旧などの意味で使用している。

第4節

No.	用語	解説
56	通年観光 掲載ページ P90	ある一定期間だけに集中して観光客が訪れるのではなく、一年を通して切れ目なく観光客が訪れ、楽しむことができる観光地づくり。
57	創業支援事業計画 掲載ページ P92	国の産業競争力強化法に基づき、地域における創業の促進を目的として、市区町村が創業支援事業者（地域金融機関、商工会議所等）と連携し、策定する計画。
58	特定創業支援事業 掲載ページ P92	市区町村または創業支援事業者が、創業希望者等に行う、経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識習得を目的として継続的に行う創業支援の取組。
59	JETプログラム 掲載ページ P93	地域の外国語教育の充実と国際交流を図るため、外国の青年を招いて語学指導等を行う外国青年招致事業「The Japan Exchange and Teaching Programme」の略。
60	グローバル化 掲載ページ P95	政治・経済、文化などにおいて、国や地域の垣根を越え、世界規模で資本や情報のやり取りが行われること。
61	集落営農組織 掲載ページ P95	集落などで農家が農業生産工程の全部または一部を共同して行う組織。
62	耕畜連携 掲載ページ P97	米や野菜等を生産している耕種農家へ畜産農家から堆肥を供給したり、逆に転作田で飼料作物を生産し、畜産農家の家畜の飼料として供給する等、耕種と畜産の連携を図ること。
63	6次産業化 掲載ページ P98	農林水産業者が生産（1次）、加工（2次）、販売（3次）まで一体的に取り組んだり、2次、3次業者と連携して新商品やサービスを生み出したりすること。1次×2次×3次と掛け合わせることから「6次」という。

No.	用語	解説
64	UJターン 掲載ページ P98	大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻ること。Jターンは出身地の近くの地方都市に移住すること。Iターンは出身地以外の地方へ移住すること。
65	オーナー制農業 掲載ページ P98	都市住民に直接耕作に関わってもらいながら農地を保全していく方法。
66	地産地消 掲載ページ P99	地域で生産された農産物や水産物を、その地域で消費すること。
67	グリーンツーリズム 掲載ページ P99	農村や漁村での滞在型休暇。都市住民が農家などにホームステイして農作業を体験したり、その地域の歴史や自然や文化に親しみ、人々との交流を楽しむ余暇活動。
68	DMO 掲載ページ P102	観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、官民などの幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する法人組織のこと。 「Destination Marketing / Management Organization」の略。
69	民泊 掲載ページ P106	個人が所有する住宅の一部や別宅、マンションの空き室などに旅行者を有料で宿泊させること。
70	Wi-Fi 掲載ページ P106	パソコン、スマホ、タブレットなどのネットワーク接続に対応した機器を、無線の電波でインターネットに接続できるようにする仕組み。

第5節

No.	用語	解説
71	コミュニティスクール (学校運営協議会制度) 掲載ページ P112	教育行政が自らの所管の公立学校の運営や改革について手が回らないところを、地域住民に積極的にかかわってもらって運営の一部を任せる形態の学校のことである。
72	放課後子ども総合プラン 掲載ページ P112	共働き家庭の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、文部科学省と厚生労働省が協力し、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子供教室の整備を進め、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる場を計画・整備するもの。
73	適応指導教室 掲載ページ P112	心理的、情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、自立を促しながら集団生活に適応する力を育み、学校への早期復帰や社会性を育成する場所。

No.	用語	解説
74	総合型地域スポーツクラブ 掲載ページ P117	主にヨーロッパ諸国などに見られる地域のスポーツクラブの形態で、地域において、個人や家族、子供から高齢者、障がい者までを含む、様々なスポーツを愛好する人々が参加できる総合的なスポーツクラブのことであり、地域住民のスポーツ活動の拠点となるクラブのこと。何種類かのスポーツを自分の身近な地域の拠点施設で行え、地域に住むだれもが会員になれば、運営経費は基本的に会員の会費で賄う。
75	重要伝統的建造物群 掲載ページ P120	文化財保護法に規定する文化財種別のひとつ。市町村が条例などにより決定した伝統的建造物群保存地区のうち、文化財保護法第144条の規定に基づき、特に価値が高いものとして国が選定したもの。

第2次有田町総合計画

ひとつながり ひとつどう
世界に誇れるまち 有田

2018年3月

〔編集・発行〕

有田町まちづくり課

〒849-4192

佐賀県西松浦郡有田町立部乙2202番地

TEL 0955-46-2111 FAX 0955-46-2100

E-mail arita@town.lg.jp

URL <http://www.town.arita.lg.jp/>

〔印刷〕 印刷ショップアリタ



有田町